

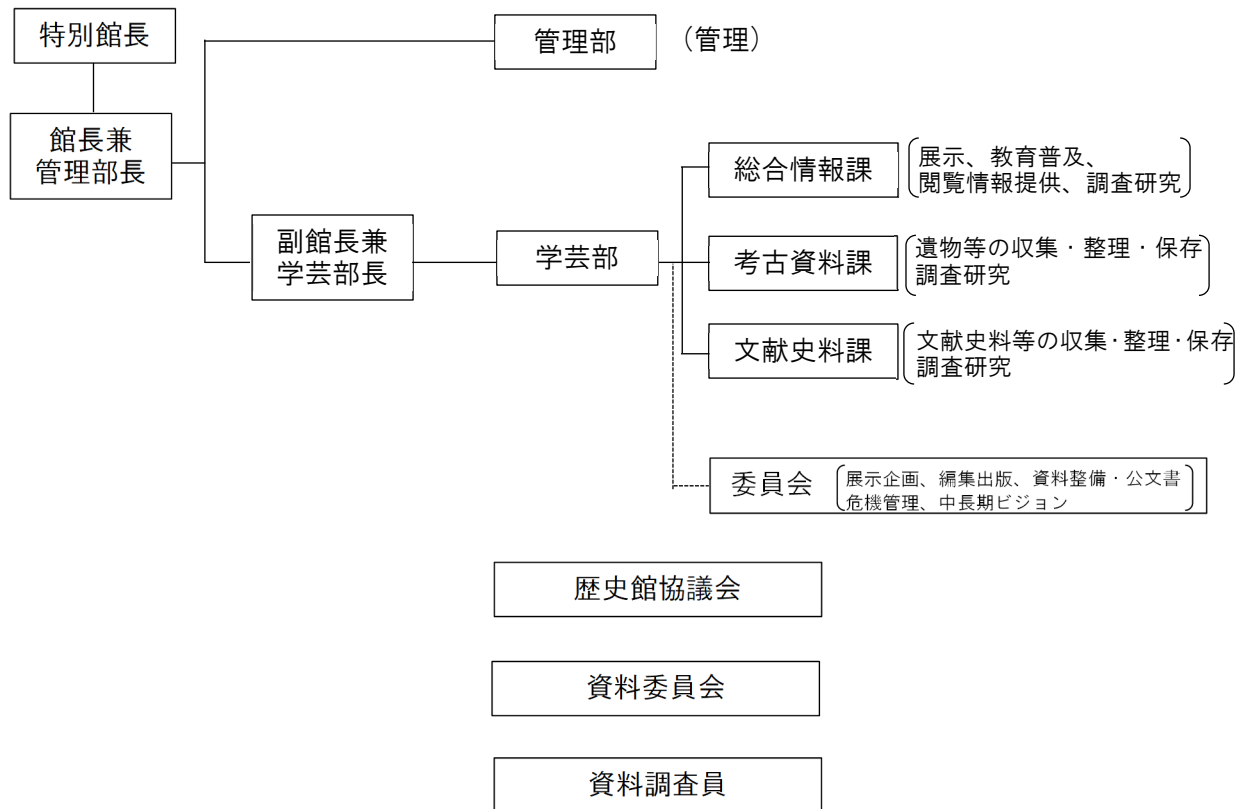
6 県立歴史館

(1) 歴史館の概要

県立歴史館は、考古資料、歴史的価値を有する文書、その他歴史資料等の収集・保存、調査研究を行い、展示等により広く県民の利用に供し、その教養及び文化の振興に寄与するため設置され、県立の博物館としての役割を持つとともに、公文書館の機能も併せ持っている。

また、学校等の団体見学、研究成果の発表や各種講座の開催など、県民の歴史学習を支援する様々な活動に取り組んでいる。

(2) 組織と機能



職員配置 令和4年3月31日現在

(単位：人)

区分	正規職員	会計年度 任用職員	合計
特別館長		1	1
館長兼管理部長	1		1
副館長兼学芸部長	1		1
管理部	3	4	7
学芸部	16	10	26
総合情報課	9	2	11
考古資料課	4	3	7
文献史料課	3	5	8
合計	21	15	36

(3) 県立歴史館協議会

委員の構成

(令和4年3月31日現在)

氏名	現職
植田平	公募
浮貝貴子	公募
倉石あつ子	安曇野市豊科郷土博物館職員
久留島浩	国立歴史民俗博物館 特任教授
佐藤真耶	特定非営利活動法人エリアネット更埴理事
中澤英治	千曲市森將軍塚古墳館長
中村孝子	埴生小学校教諭
三井有奈	坂城町教育委員
矢島宏雄	長野県考古学会副会長

注 欠員1人

(任期 令和3年2月7日から令和5年2月6日まで)

(4) 常設展 ※小テーマ替えは随時行っている。

- ア 原始 定住のはじまり ほか
- イ 古代・中世 信濃から都へ ほか
- ウ 近世 城と城下町 ほか
- エ 近現代 世界につながる蚕糸業 ほか

(5) 企画展等

- ア 春季展「至宝の名品 -学芸員のイチ押し 絵画工芸編-」
展示期間：令和3年3月13日（土）～6月13日（日）
- イ 夏季企画展「青少年義勇軍が見た満州 -創られた大陸の夢」
展示期間：令和3年7月10日（土）～8月22日（日）
講演・講座等

7月18日（日）	講演会「青少年義勇軍になるー『鉄の戦士』の素顔」
7月24日（土）	親子で知ろう！考えよう！夏休みの平和学習会 ※健康福祉部 地域福祉課との連携事業 第1部 「青少年義勇軍が見た満州」 第2部 「元ゼロ戦パイロット原田要さんから学んだ 戦争と平和への思い」
8月1日（日）	特別親子映画会 アニメ「蒼い記憶-満蒙開拓と少年たち」
8月7日（土）	シンポジウム「義勇軍体験の継承」

ウ 秋季企画展「全盛期の縄文土器 -圧倒する褶曲文-

展示期間：令和3年9月18日（土）～11月23日（火・祝）

講演・講座等

10月2日(土)	ミニトーク「土器に見える動物文様」
10月30日(土)	ミニトーク「炭素窒素安定同位体比による煮沸対象」
11月6日(土)	ミニトーク「水煙文土器の修復」
11月6日(土)	講座「褶曲文の技と水煙文土器の誕生」
11月13日(土)	講演会「4900年前の大変動 -地域集団の再編-

エ 冬季展「没後80年 郷愁の画家 丸山晚霞 -師友とその時代」

展示期間：令和4年1月15日（土）～2月27日（日）

講演・講座等

1月29日（土）	講演会「丸山晚霞の立志 -あこがれの地、アメリカ・ヨーロッパへ-」※
2月5日（土）	講座「水彩画家・丸山晚霞の生涯と芸術」※

（※印は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

（6）講座

ア 県立歴史館の信州学講座

①館内

5月8日(土)	「新たな時代にはばたく信州」
6月12日(土)	「伝えられない災害」
7月3日(土)	「近くて遠い人と水」
1月22日(土)	「遺跡が語る比類なき風土」※
2月12日(土)	「青緑色のぬくもりを未来へ」※
3月5日（土）	「ものづくりの進化は続く」※

（※印は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

②信州学出前講座

9月11日(土)	「北信地方の青少年義勇軍と満州 -夢を創った社会」※	飯山市ふるさと館
10月26日(土)	「上小地域における弥生文化の形成 ～稲作導入期の上田・小県を考える～」	上田市信濃国分寺資料館
11月27日(土)	「描かれた日本アルプス -江戸から明治へ (明治30年代、丸山晚霞を中心に)」	安曇野市豊科郷土博物館

（※印は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

イ 考古学講座『長野県の考古学～環境と暮らし～』

6月19日(土)	「時代の画期と暮らしの変化 1」
7月17日(土)	「道具の変化と生業の変化」
8月28日(土)	「地震と洪水の痕跡」※
10月23日(土)	特設講座 「土器圧痕を調べてみよう」
11月20日(土)	「災害と時代の変化～浅間火山～」
12月4日(土)	特設講座 「石器を調べてみよう」
12月11日(土)	「時代の画期と暮らしの変化 2」
2月4日(土)	特設講座 「縄文時代・弥生時代の骨を調べてみよう」※

(※印は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

ウ 古文書講座(通年予約制) (新型コロナウイルス感染症拡大防止のためすべて中止)

初級A：年間5回※ 初級B：年間5回※

中級A：年間5回※ 中級B：年間5回※

上級：年間5回

ティーンズ：年間4回

古文書フォローアップ：年間2回

(※印は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため動画配信対応回あり
初級A及びB：各1回・中級A及びB：各1回)

(7) お出かけ歴史館

5月20日(木)	大鹿村立大鹿小学校
7月22日(木・祝)	伊那市立伊那図書館
8月8日(日)	下條村教育委員会
11月19日(木)	下諏訪町公民館

(8) 講習会(関係者)

ア 考古資料保存処理講習会 6月24日(木)※、10月21日(木)、12月9日(木)

(※印は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

イ 文献史料保存活用講習会 6月24日(木)、10月29日(金)、

1月28日(木)

(9) イベント

5月5日(水・祝)	歴史館でこどもの日
8月1日(日)	歴史館で夏休み
11月28日(日)	縄文風クリスマスリースを作ろう

(10) 他機関等との連携事業

ア 「歴史館パートナーの日」の実施

11月21日(日)	「須坂市民の日」 史料特別公開、須坂市民対象バックヤード案内など
11月27日(土)	「KOAの日」 歴史館ツアー、バックヤード案内、史料特別公開など

イ 信濃毎日新聞コラム「しなの歴史再見」の執筆

執筆数 50回

ウ 考古学セミナー（長野県考古学会との共催）

6月6日(日)	(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)
---------	-------------------------

エ 近世史セミナー（信濃史学会、信州近世史セミナーとの共催）

12月4日(土)	研究発表1「江戸時代の感染症と人々の対応 ～南信地方の事例から～」
	研究発表2「筑摩郡旗本諏訪市領松本藩における 幕末の感染症対応」

(11) 利用者数の推移

区分 年度	常設 展示室	企画 展示室	講演 講座等	閲覧室	合計	対前年度 割合	対7年度 割合
6年度	50,375	34,685	1,033	6,797	92,890	11月3日開館	
7年度	99,478	23,470	3,086	11,887	137,921	—	—
8年度	74,438	21,029	2,299	10,466	108,232	78.5	同左
9年度	59,968	15,585	3,133	8,067	86,753	80.2	62.9
10年度	53,651	32,586	3,608	8,362	98,207	113.2	71.2
11年度	53,814	30,392	3,617	8,461	96,284	98.0	69.8
12年度	47,604	25,781	3,540	9,355	86,280	89.6	62.6
13年度	46,303	34,352	4,346	7,573	92,574	107.3	67.1
14年度	45,106	33,887	6,384	7,566	92,943	100.4	67.4
15年度	43,813	33,400	12,952	7,070	97,235	104.6	70.5
16年度	43,889	32,797	12,429	6,287	95,402	98.1	69.2
17年度	44,855	33,585	12,263	8,232	98,935	103.7	71.7
18年度	46,362	37,866	14,360	13,642	112,230	113.4	81.4
19年度	46,874	42,691	15,217	12,454	117,236	104.5	85.0
20年度	41,790	32,316	13,089	10,815	98,010	83.6	71.1
21年度	41,089	32,507	14,774	10,002	98,372	100.3	71.3

22年度	40,839	29,969	12,175	9,916	92,899	94.4	67.4
23年度	43,383	33,676	11,057	6,118	94,234	101.4	68.3
24年度	42,154	37,674	11,953	7,201	98,982	105.0	71.8
25年度	39,323	32,603	13,091	7,205	92,222	93.2	66.9
26年度	39,897	34,614	21,004	7,855	103,370	113.8	74.9
27年度	41,609	31,886	24,536	6,963	104,994	101.6	76.1
28年度	44,673	32,199	31,424	4,094	112,390	107.0	81.5
29年度	40,765	25,780	32,263	4,244	103,052	91.7	74.7
30年度	40,002	26,848	30,743	3,731	101,324	98.3	73.5
令和元年度	54,247	40,414	23,095	4,024	121,780	120.2	88.3
令和2年度	21,764	16,127	3,364	2,523	43,778	35.9	31.7
令和3年度	25,831	22,162	30,649	2,419	81,061	185.1	58.8
合計	1,313,896	861,417	371,484	213,329	2,760,126	—	—

※常設展示室は巡回展の人数を含む。

(12) 資料の収集・整理・保存

ア 展示資料

「春秋農耕図」「真空管式ステレオ」など85件の寄贈があった。

イ 考古資料

収蔵庫内の資料の点検、修理が必要な遺物の整理を行うとともに、長野県埋蔵文化財センターから移管された遺物、写真、調査資料等の整理を実施した。

また、木器や金属器など館蔵脆弱資料のうち、劣化状況が深刻な資料について、保存処理を継続して実施（完了：木器225点、金属器30点）したほか、歴史館の設備を用いて、当県の歴史研究のために必要とされる科学分析を実施（71点）した。

ウ 文献史料

① 古文書

「武田晴信書状」「下川路村関島家文書」など7件を購入したほか、「佐久郡伴野村木内家文書」「本池悟収集書簡資料」など4件の寄贈があった。

② 行政文書

不用決定された本庁及び現地機関の文書814件について、歴史的価値を有する文書として収集した。